

活動日誌から

●ネグロス島と私たちの30年パーティ

フィリピンのネグロス島との交流を続ける「ネグロスキャンペーン岡山」30周年記念企画があり、バナナ生産者協会のチータ事務局長と、ジョネルさんがやってきました。若きリーダーが育っていることが嬉しい。



●総社市 新生活交通「雪舟くん」視察

雪舟くんは、交通空白地をなくすために2011年にスタート。ワンボックスカーでの乗り合いで、戸口から戸口まで、一人1乗車300円。利用者の8割以上が60代以上の方だとか。住民の移動を確保することは、高齢化が進む中、ますます重要です。



●学童保育講演会

2016年に倉敷市で始まった、学童保育・作業療法士連携の取り組みが広がっています。県北でどう進めていくかの勉強会でした。鏡野町でも進めたいと思います。



●入真加部水路土砂撤去

西日本豪雨で、農業用水路が各地で寸断され大きなダメージを受けました。共同作業で土砂の撤去を行いました。また水利組合の役員さんと水路を全行程見て回りました。



◆予定 町民と議会との意見交換会：「移住・定住の促進」

鏡野町議会では、町民の皆さんとの直接対話でいただいた意見などをもとにして、町へ政策提言を行うことを目的に、「意見交換会」を開催しています。今年「移住・定住の促進」というテーマに沿って開催します。
8月19日(日) 午前9:30～11:30
ペスタロッツ館 夢ホール
お申し込み先：鏡野町議会事務局 電話(0868)54-2926

■編集後記

本を読まないなあと思っている。色々なものをインターネットで済ませてしまっている。この豪雨の始まる前から「海は見えるか」(真山仁)をめぐっていた。阪神大震災にあった教師と東日本大震災の子どもたちとのふれあいを描いた小説。表題の「海は見えるか」は防潮堤建設か、否かを描いたもの。少し泣け、ちよっぴり優しくなれる。



日々の動き



- 3月
 - 5日 3月会議初日(～23日)
 - 9日 「ウランと環境研究懇話会」報告会
 - 10日 立憲自治議員の会、国際女性デー岡山県集会
 - 11日 鏡野中学校卒業式、入真加部土地改良区総会
 - 13日 一般質問
 - 14日 議会運営委員会、総合文化施設運営審議会他
 - 15日 総務委員会傍聴
 - 16日 文教厚生常任委員会
 - 18日 手話言語条例の学習会
 - 19日 産業委員会傍聴
 - 20日 上斎原小卒業式
 - 22日 南小卒業式、矢山有作さんを偲ぶ会
 - 23日 3月会議最終日、全員協議会
- 4月
 - 6日 芳野こども園入園式
 - 7日 真加部農地・水保全管理活動組織総会
 - 8日 真加部部落総会
 - 10日 南小入学式
 - 11日 鏡野中入学式
 - 12日 郷幼稚園入園式
 - 14日 **ネグロス島と私たちの30年パーティ**
 - 15日 消防出初式
 - 18日 安保法制違憲訴訟口頭弁論
 - 26日 韓国の民主主義に学ぶ講演会(高松)
 - 27日 議会運営委員会
- 5月
 - 1日 メーデー、上斎原おんな相撲大会
 - 3日 憲法集会(白井聡さん講演会)
 - 5日 味覚祭、富お田植祭
 - 8日 5月会議
 - 17日 岡山県教組久米・苫田支部総会
 - 23日 **総社市新生活交通「雪舟くん」視察**
 - 24日 特養「新宅」運営推進会議
 - 25日 議会運営委員会
 - 27日 鏡野町文化協会総会
- 6月
 - 8日 南小資源回収
 - 4日 6月会議初日(～26日)
 - 6日 6月会議質疑、議会運営委員会
 - 9日 みどり岡山総会
 - 14日 一般質問
 - 15日 鏡野中学校公開
 - 16日 真加部地域農業研究会議
 - 19日 文教厚生常任委員会、米子市議選(土光ひとしさん)応援
 - 22日 手をつなぐ育成会総会
 - 23日 **学童保育講演会**
 - 24日 真加部芳寿会総会、石田保昭さんお別れの会
 - 26日 6月会議最終日、議会運営委員会
 - 27日 特養「新宅」運営推進会議
 - 28日 富振興センター起工式、国民健康保険運営協議会
- 7月
 - 2日 全員協議会
 - 5日 岡山県町村議研修会
 - 7日 入真加部水路土砂撤去作業
 - 8日 真加部夏祭
 - 9日 議会運営委員会、町長申入れ
 - 10日 水路見回り
 - 15日 真備町へ(写真)
 - 16日 **入真加部水路土砂撤去作業**
 - 17日 7月第1回会議、学校給食共同調理場運営委員会
 - 21日 上河原水路草刈り、ふれあいの里納涼祭
 - 26日 議会運営委員会
 - 31日 7月第2回会議



光吉ひとし 鏡野町議会レポート



708-0335 岡山県苫田郡鏡野町真加部 379
T&F 0868-54-2345
h-mitsuyoshi@wi.kualnet.jp http://kagamino.org

No.4
2018.8

7月豪雨災害

安全神話の終わりを

この度の西日本豪雨の被害にあわれた皆さんに心よりのお見舞いを申し上げるとともに、亡くなられた方、そして遺族の皆さんに哀悼の意を表します。



7月中旬、被害の酷かった倉敷市真備町を訪れました。まだ昼間は渋滞で身動きが取れない時だったので夜、東日本大震災にあった友人から託された水を届けに。信号機も消えた静かな道の両脇に、家具などが山積みになっていました。



翌日は倉敷市議の話を聞き、避難所2箇所を訪れました。クーラー、シャワー、トイレ、そして女性への配慮やプライバシーなど基本的なことへ気を使っての、避難所運営について学びました。

暑さと土埃、そして異臭の中、ボランティアの人たちが働いていましたが、ひっきりなしに恐らく熱中症の人を運ぶ救急車が走っていました。そして



で氾濫した水のすごさに、ただただ驚くばかりでした。

岡山は災害が少ないというのは、完全に過去のことになりました。防災計画など、全てを見直す必要があります。ハザードマップは果たして役に立ったのでしょうか、必要な情報は迅速かつ有効に伝わったのでしょうか……。

そして気候変動がこれらの異常気象を引き起こしていることは、疑いのないこととなりました。地球温暖化を抑えるための取り組み

は、これまで以上に必要です。取り組むべきことは山積みです。



雨の降り始めた日、岡山県町村議会研修会のテーマは「議会の危機管理―災害時における議会・議員の対応」でした。地域防災計画には議会の位置付けがほとんどない、という指摘には驚きました。鏡野町議会は災害時の「議会 初動マニュアル」を策定します。とりあえずですが、ここからの出発です。



鏡野町でも被害が

3月会議

● 3月会議

初めての、当初予算を審議する3月会議となりました。113億7千万の当初予算、さらに国保や介護保険の特別会計予算が成立しました。

一般質問項目（毎回「住民との協働で持続可能なまちを」という大きなテーマで質問を考えています）

1、「ふるさと住民票」の導入で関係人口を増やそう

(1) ふるさと住民票の導入を

(2) 「関係人口」を増やす取り組みを

[関係人口:移住した定住人口でも、観光にきた交流人口でもない地域や地域の人々と多様に関わる者]

2、所有者不明土地対策

(1) 把握はできているか

空き家の実態調査だけでなく、所有者不明土地の把握を

(2) これまでどのような所有者不明土地対策が行われてきたか

(3) 山林の対策への取り組みを

3、実効性ある男女共同参画計画を

(1) 何故、第二次計画は策定されていないのか

: 計画推進の体制（PDCA サイクル、検証システム）に問題はないか

: 「作りっぱなし」にされている計画は、他にはないのか

(2) 実効性ある第二次計画を早急に作るために

: 男女共同参画を町行政にしっかりと位置付ける

(総合計画でも共同参画の視点が弱い)

: 住民参加で計画を作ろう。

* 鏡野町には、実は男女共同参画条例もありません。計画と合わせての制定を求め

「できれば計画と条例の両並びで策定をしていきたい」との答弁がありました。

(3) DV防止の取り組みの強化を

: 相談窓口の充実はどのように進められたか

: 広報はどのように進められたか



9月会議から一般質問を行った議員名、各議員の議案への賛否が「広報かがみの」に掲載されることになりました。引き続き「議会広報」の発行を目指して行きます。

公開すべきだった —— 香典返し紛失事件 調査特別委員会の設置提案をめぐって

議会運営委員会からの提案で「鏡野町社会福祉協議会 寄附金紛失事件調査特別委員会の設置」が本会議にかけられました。いわゆる香典返し紛失事件の時効が一年後に迫っているため、議会としても調査をきちんと行おうというものです。

賛否の討論が行われ採決に入りましたが、それは分りにくいものになりました。「無記名投票による表決要求」が出されたからです。

4人の議員が賛成、反対の討論を行い、投票に入りました。

1、無記名投票への賛否を、無記名投票で行い、賛成7 反対7。

2、記名投票への賛否を、無記名投票で行い、賛成7 反対7。

賛否同数により、議長判断で、無記名投票を行うことになりました。

そして特別委員会の設置について、無記名投票が行われ、賛成7 反対6 白票1、白票は反対にカウントされるので賛否同数になり、議長判断で、設置反対となったのでした。

私は記名投票をすべきであり、かつ特別委員会を設置すべきと考えていましたから、残念な結果となりました。

そしてそれ以上に、町民の皆さんが「何が起きているのか」非常に分りにくいものになりました。今回の事態は、以下の鏡野町議会基本条例にそむくものでした。

(前文)「議会は…**論点及び争点を広く町民に明らかにする責務**を有している。**自由かつ達な討議**を通して、これら**論点及び争点を町民に公開**しなければならない」

(第1条、目的)「地方分権と地方自治の時代にふさわしい、**町民に分かりやすい議会**及び議員の活動の活性化と充実のために必要な、議会運営の基本事項を定めることによって、**町政の情報公開を基本**とした、鏡野町のより持続的で豊かなまちづくりを進めることを目的とする」

6月会議

● 6月会議

津山・鏡野間バス連携事業費、香北学区放課後児童クラブ施設整備事業費などの補正予算が成立しました。私は「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正」について悩みましたが賛成しました。

一般質問項目

1、鏡野町の条例、計画を住民とともに作るために

パブリックコメント条例の策定を

(1) パブコメの実施状況は

: どういう場合にパブコメを実施するのか

: これまでの成果と今後の課題は

どのくらいの意見が寄せられ、町政に反映されたか

もっと意見を寄せてもらうための工夫は

(2) 「ウランのふる里研究エリア」基本構想

: なぜパブコメを求めなかったのか

町の基本的な政策を定める計画などがパブコメ対象では

: 基本構想を定めたことをなぜ広報しないのか

広報かがみの、町ホームページで早急に知らせるべきでは

(3) 町の計画の住民との共有を

: 現行計画がホームページにアップされていない

各課ごとに、現行計画のアップ状況を知らされたい

: アップされていないものは、いつまでにアップされるか

: 議会のタブレットにはいつまでにアップされるか

(4) 鏡野町輝くまちづくり基本条例を活かすために

パブリックコメント条例の制定を

2、「永続地帯 鏡野」——持続可能なまちを目指して

(1) 公共施設の新設、改修にあたって環境への配慮基準を

: 町産材・県産材を求めるだけでなく

太陽光発電や断熱の基準を設けるべきでは

(2) 住宅2020年省エネ基準達成のために町ができることは

: 健康づくりのためにも取り組みを

(3) 「古い冷蔵庫を探せ」キャンペーンに取り組んでみては

: 省エネ対策として冷蔵庫の買い替え促進と啓発を

3、町民との信頼関係を築くために

鏡野町社会福祉協議会寄附金紛失事件の解決に向けて

(1) 確認されているだけで5件の紛失事件が起きているが

何が真相究明を妨げていると執行部は考えているのか

(2) H24(2012)年5月1日に発覚した1件目では

寄附金受付者が判明している。しかし議会には受付者が

分からないと報告されたままだが、何故か

(3) 被害者である社会福祉協議会には受付者判明は伝えているのか

(4) 警察には受付者が判明していることを、何時、伝えたのか

「放射性廃棄物は持ち込ませない」と明言

「ウランのふる里研究エリア」基本構想について、町民に知らされていないことの問題点を再質問しました。納得できる答弁ではありませんでしたが、他方、放射性廃棄物は持ち込ませないことは明言されました。

【再質問】「病院ができるのはいいことだが、その見返りのような形で、人形峠に放射性廃棄物を他所から持って来られては困る」という話を最近聞きました。町の基本的な考え方が伝わっていないから、そういう話も出てくるんだろうと、私は思っています。基本的なところを町民に対して説明することが必要では。

【再答弁】小林まちづくり課長

一方的な計画公表のみでは、正確かつ十分な説明を行うことができない、アップすれば混乱を招く恐れがあることから、原則、パブリックコメントは行わず、実際に計画が動き出すようになってから、地元住民を中心とした説明会を開き、意見を聞くとともに、あわせて情報公開をしていきたいと考えています。

見返りに人形峠に廃棄物が、というようなお話をされたんですが、人形峠が主体になり、「ウランと環境研究懇話会」を開催して意見交換をしております。その中で、町としても「今あるもの以外は、持ち込むことを許さない」ことを明確に申し上げております。

■ 7月会議

西日本豪雨を受けて、被害からの復旧のための補正予算が成立しました。

9月会議：9月3日～